

R-R インターバル解析プログラム (NoruPro Light Systems)

R-R Interval Analysis Ver 1.2



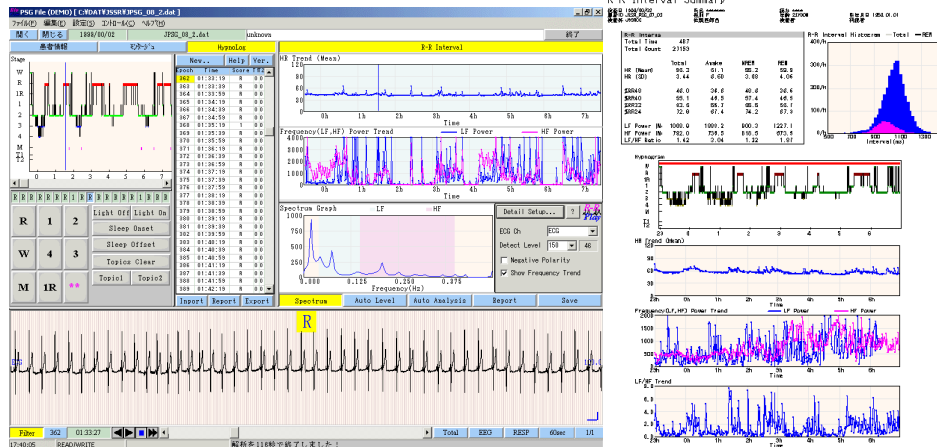
R-R インターバル解析プログラム (**R-R Interval Analysis**) は、判読リーダー (**Bio Signal Viewer**) にアドインして、心電波形の R-R インターバルを計測し、トレンド表示及び周波数分析を行い自律神経機能のレポートを作成するプログラムです。周波数解析には、最大エントロピー法 (MEM 法) を用いた MemCalc を使用して、周波数分解能を高めています。

特徴

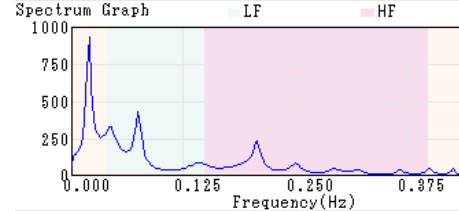
- **Bio Signal Viewer** のオプションソフトとして機能します。
- 心電波形 1 チャンネルの R 波を検出して R-R インターバルを検出します。
- 検出レベルの自動設定及び追従設定により、R-R 検出精度を上げています。
- トレンドは、R-Rトレンドと周波数トレンドを同時表示が可能です。
- ページ波形のスペクトラム表示と R-R インターバルのヒストグラム分布を表示します。
- 周波数分析は MemCalc を使用して、LF、HF、及び LF/HF を計測しトレンド表示が可能です。
- トレンド表示と波形表示が連動しています。
- R-R インターバル情報をエポック単位でテキスト形式保存できます。
- 解析結果レポートを印刷できます。
- グラフイメージをメタファイル形式でクリップボード経由で他アプリケーションで利用できます。
- 操作ヘルプが充実しています。

機能画面 (画面は、Viewer の右上側に表示されます)

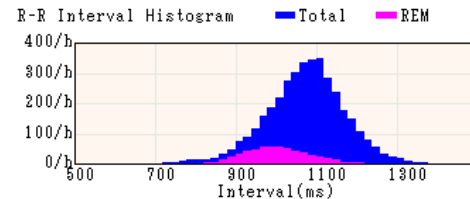
レポート印刷



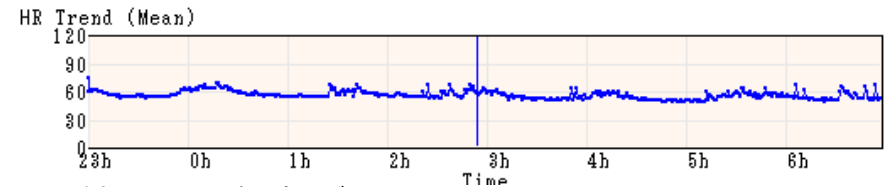
スペクトラム表示



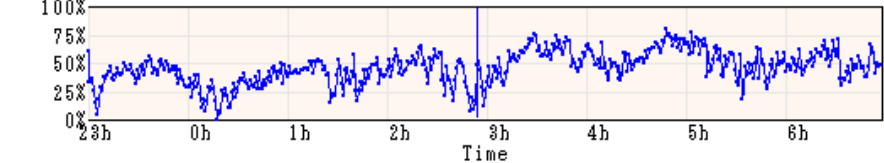
R-R インターバル分布



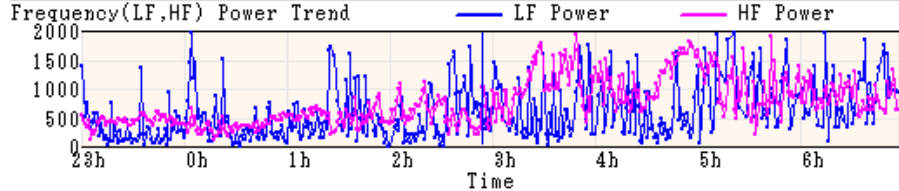
トレンド表示 (HR エポック平均)



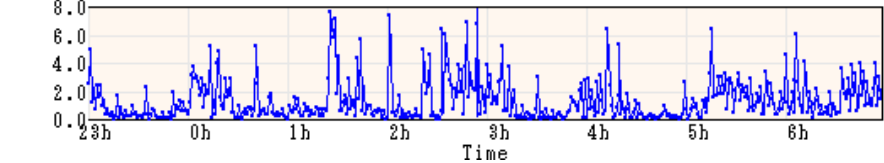
トレンド表示 (R-R%時間変化グラフ) R-R Difference Percent (40msec)



トレンド表示 (LF, HF パワー)



トレンド表示 (LF/HF 比) LF/HF Trend



仕様

- R-R 検出チャンネル ECG1チャンネルの生波形
- 検出方法 波形認識によるピーク検出
- 周波数解析 最大エントロピー法 (MemCalc を利用)
- 解析パラメータ LF 0.04~0.15Hz, HF 0.15~0.4Hz, LF/HF 値
- トレンドグラフ R-R インターバルと HR 値の切り替え
- スペクトラム表示 ページ波形の R-R インターバルのスペクトラム表示
- ヒストグラム R-R インターバルの分布 (Total と REM 区別可能)
- 連動トレンドと表示ページ波形の連動
- レポート印刷 自律神経機能レポート印刷
- 保存 エポック単位で情報をテキスト形式で保存
- クリップボードコピートレンドデータの表示イメージ及びテキスト形式でクリップボードコピー

動作環境

- パーソナルコンピュータ (PC/AT 互換機) USB ポート付 PentiumII 600MHz 相当以上
- メモリ 128MB 以上 (推奨 192MB 以上), ハードディスクの残り容量 500MB 以上
- 表示解像度 1024×768 以上 (解析時には 1280×1024 以上推奨)
- 対応 OS Windows2000

開発元 (有) のるぷろライトシステムズ 問い合わせメール info@norupro.ne.jp
〒185-0003 東京都国分寺市戸倉 2-11-25 TEL/FAX 042-304-1951 できるだけメールでお問い合わせください。